



公益財団法人 国際交通安全学会  
International Association of Traffic and Safety Sciences

2022.4.8.  
研究調査報告会  
於：経団連会館

2107B 研究調査プロジェクト

# 日本のラウンドアバウトデータベースと事例集の整備

プロジェクトリーダー 中村 英樹 (名古屋大学)



## ▶ IATSS会員

- 中村 英樹 (PL, 名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
- 鈴木 弘司 (名古屋工業大学工学部 准教授)
- 永田 潤子 (大阪市立大学大学院都市経営研究科 教授)
- 浜岡 秀勝 (秋田大学理工学部 教授)

## ▶ 特別研究員

- 阿部 義典 (国際航業(株) インフラマネジメント事業部 フェロー)
- 井料 美帆 (名古屋大学大学院環境学研究科 准教授)
- 奥城 洋 (セントラルコンサルタント(株) 東北支社 道路交通部 道路交通第2グループ長)
- 康 楠 (南京工業大学 交通運輸工程学院 副教授)
- 神戸 信人 (株オリエンタルコンサルタンツ 交通運輸事業部 副事業部長)
- 小林 寛 (国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路交通安全研究室 室長)
- 下川 澄雄 (日本大学理工学部 教授)
- 高瀬 達夫 (信州大学工学部 准教授)
- 高橋 健一 (三井共同建設コンサルタント(株) 道路・橋梁事業部 道路第一部 部長)
- 張 馨 (名古屋大学大学院環境学研究科 特任助教)
- 松村みち子(タウンクリエイター 代表/IATSS顧問)
- 溝田 景子 (株建設技術研究所 九州支社 道路・交通部 主任)
- 宮坂 好彦 (株建設技術研究所 東京本社 道路・交通部 グループリーダー)
- 宗広 一徳 ((国研)土木研究所 寒地土木研究所 寒地交通チーム 主任研究員)
- 吉岡 慶祐 (日本大学理工学部 助教)
- 米山 喜之 (株長大 社会基盤事業本部 第1道路部 担当部長)
- 渡部 数樹 (株オリエンタルコンサルタンツ 関東支社 交通政策部 担当次長)

## ▶ オブザーバー

- 牧内 一司 (飯田市 建設部 地域計画課 課長)
- 近藤 益生 (飯田市 建設部 地域計画課 課長補佐)

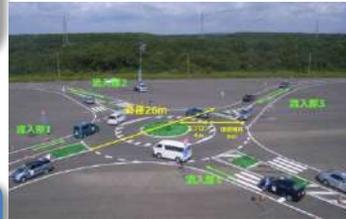
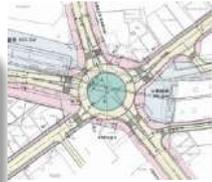
※所属は2022年3月現在

# 0. IATSSでのラウンドアバウト研究調査の経緯

## 「安全でエコなラウンドアバウトの実用展開に関する研究」

### H188プロジェクト

- ・ 飯田市東和町交差点RAB化提案
- ・ 苫小牧寒地試験道路における模擬RAB実験



### H2292プロジェクト

- ・ 飯田市吾妻町RAB化社会実験



### H2303プロジェクト

- ・ 飯田市吾妻町RAB横断歩行者感知式発光鎮社会実験



### H2425プロジェクト(社会貢献)

- ・ 全国における普及促進活動・ラウンドアバウト技術提案

## 「ラウンドアバウトの社会実装と普及促進に関する研究」



### H2420プロジェクト

日本初・飯田市東和町信号交差点のラウンドアバウト(RAB)化

### H2534プロジェクト

- ・ RAB化事前事後比較分析
- ・ RAB計画/社会実験の技術提案・参画
- ・ 全国におけるRAB普及促進活動

H26.9. 改正道交法施行

### H2645プロジェクト

- ・ 先導的事例集草稿としてとりまとめ

### H2764プロジェクト(社会貢献)

これまでの成果を、新たなまちづくりに向けて還元

- ▶ 2014年には改正道路交通法施行，以来全国各地でラウンドアバウト (RAB)が増加傾向

## ▶ 道路階層・交通特性

- 当初は交通量の少ない郊外部が中心
- 最近では自専道インター接続部や幹線道路（国道）から住区内道路まで幅広く存在
- 交通量レベルが1万台/日以上も



## ▶ 交差点形状・幾何構造

- 3枝, 4枝, 5枝, 6枝
- X字・Y字等の変形交差点への導入
- 瓢箪型RABの導入
- さまざまなエプロン段差構造 (除雪対応)



## ▶ まちづくりへの貢献

- 観光地入口での景観向上
- 商業施設, 工業団地等でのランドマーク
- 津波被災地での復興のシンボル



- RABの導入事例が増える一方で、その実態の全貌は不明確
  - 導入経緯・目的, 新設/既設, 交通特性, 運用方法
  - 幾何構造, 導入効果, …等々
- 各地のRABの導入に関わる中で多くのことを経験
  - 直面した課題やそれらの解決策・工夫など, ラウンドアバウト導入に関わる様々なノウハウの蓄積
  - 合意形成・安全教育方法, 幾何構造設計, 維持管理, …

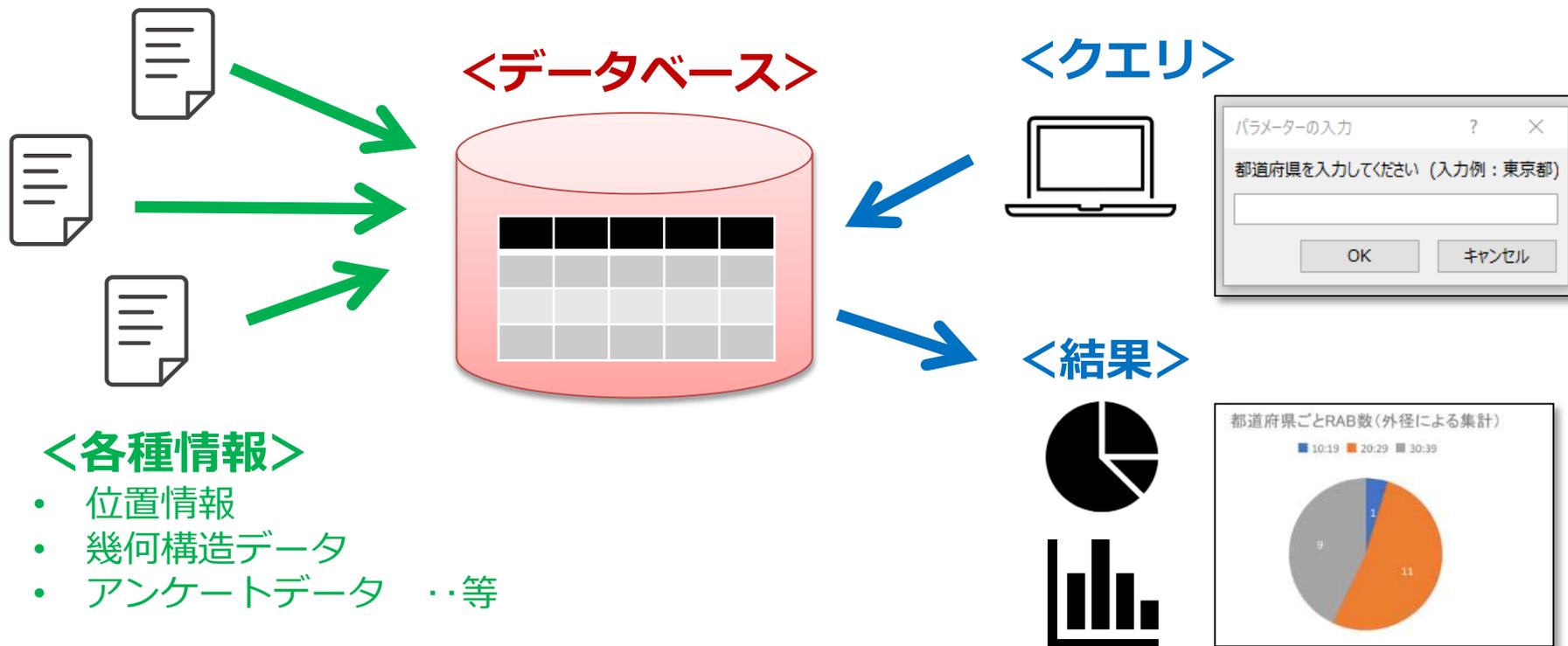
## 研究プロジェクトの目的

信頼性の高いラウンドアバウトデータベースを整備し、日本のラウンドアバウト事例の体系的整理を図ることを目的とする。

- これまでの導入事例の実態把握を可能に
- 幾何構造等の比較評価や好事例を提示
- 今後の設計・計画に対する情報提供・技術的支援
- 海外との比較分析も可能に

## データベースの仕様

- 各入手データをリレーショナルデータベースとして一元管理. 目的に応じてデータ抽出が可能なデータベースを構築

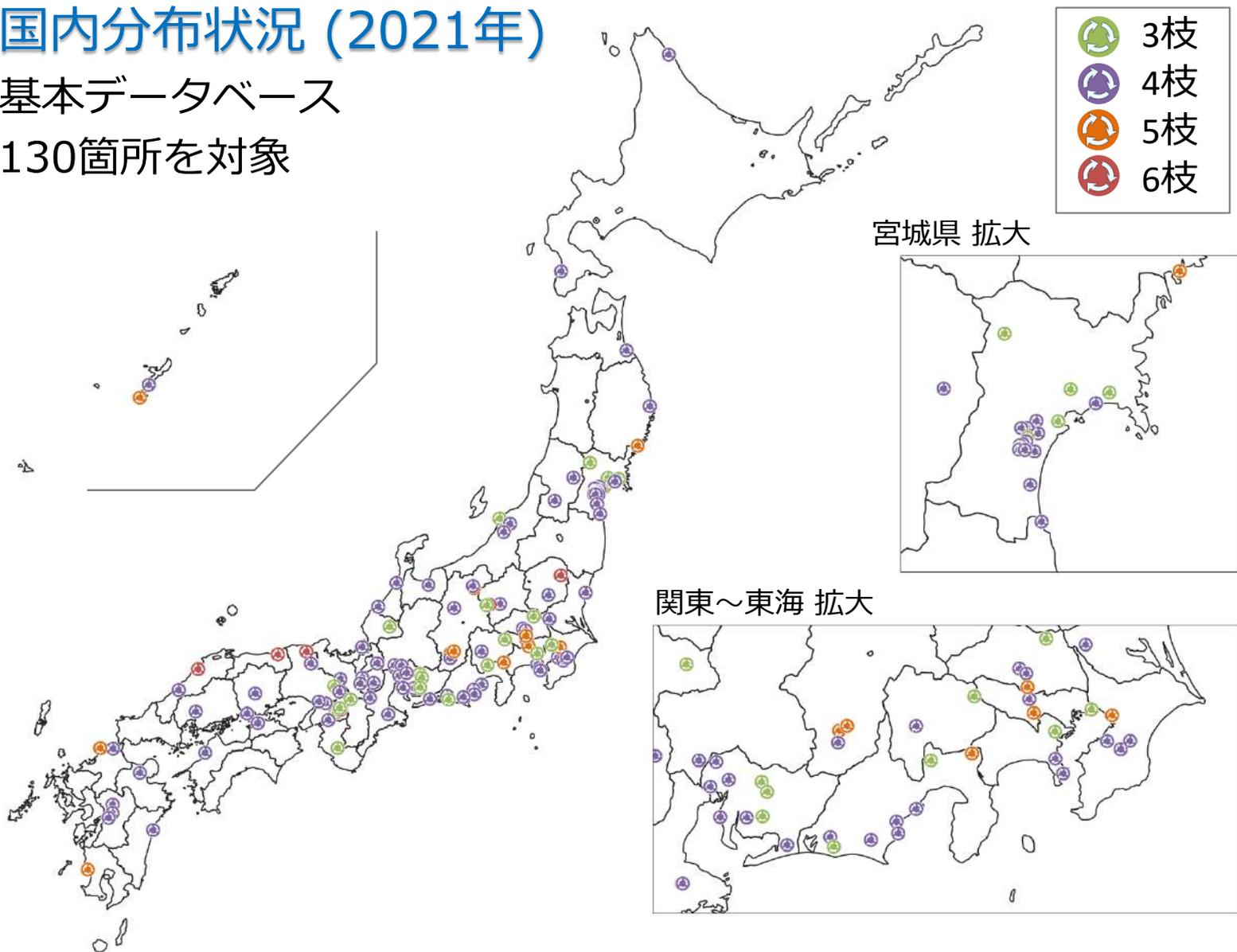


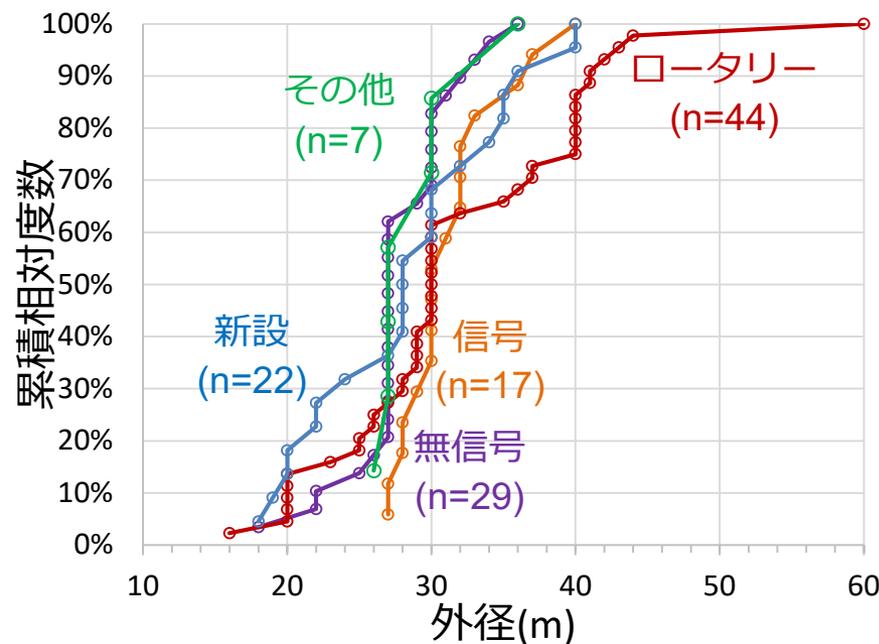
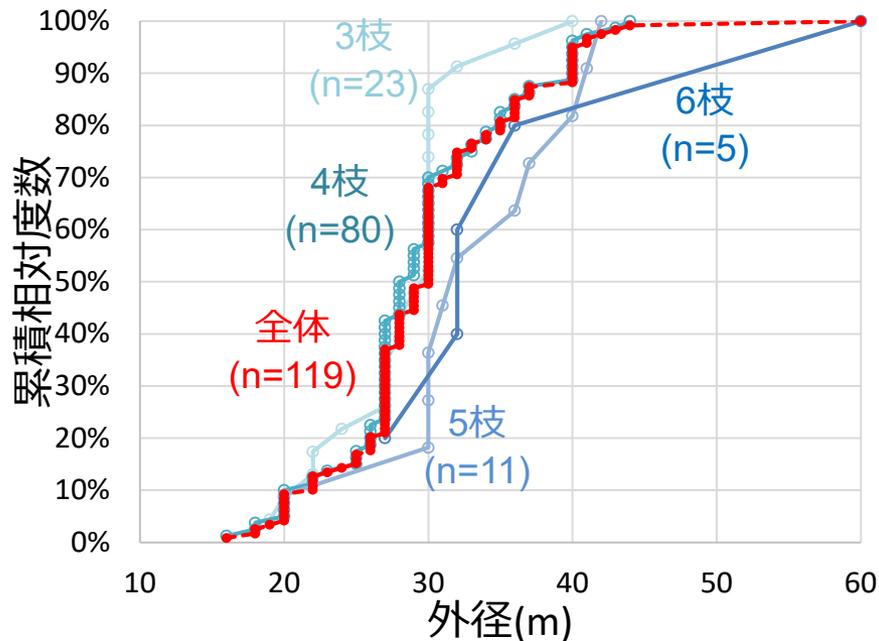
- ▶ RAB基本データベースの整備
  - データベース仕様の設計(詳細版／公開用)
  - 全国130箇所を対象
- ▶ 入力データの収集
  - 既存データの利用
  - Google Earth画像から構造スペック等の読み取り
  - 現地調査
  
- ▶ 以下、次の項目について概要を報告
  2. DBを用いた集計分析と立地特性による分類
  3. 自治体ヒアリング・アンケート調査による事例整理
    - 30箇所の代表的事例を抽出し、各箇所32項目についてのヒアリング・アンケート調査によりそれらの特徴を整理
  4. ラウンドアバウトの評価
  5. 本プロジェクトの成果と今後の課題

# 2. DBを用いた集計分析の概要

## ▶ 枝数別国内分布状況 (2021年)

- RAB基本データベース
- 全国130箇所を対象



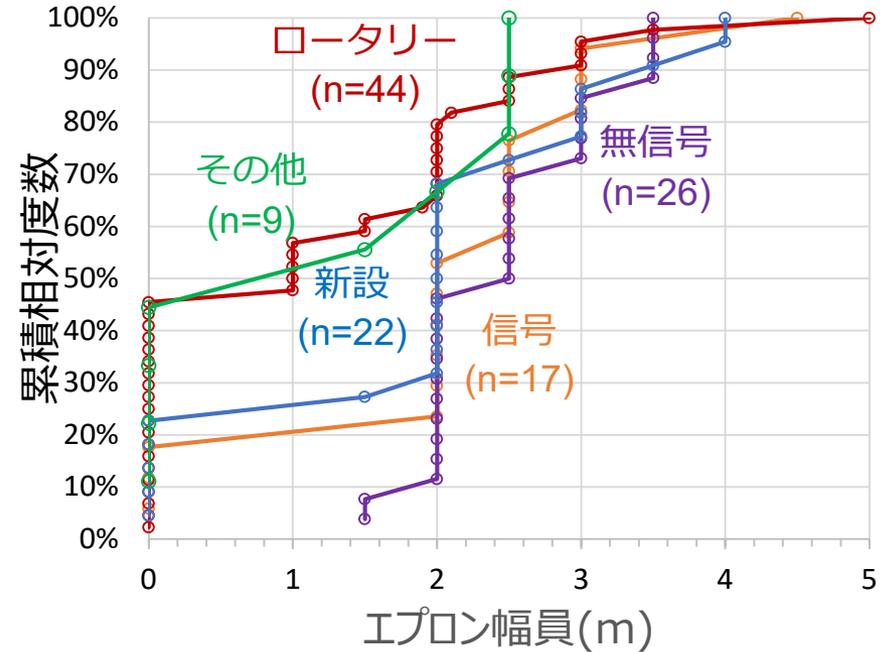
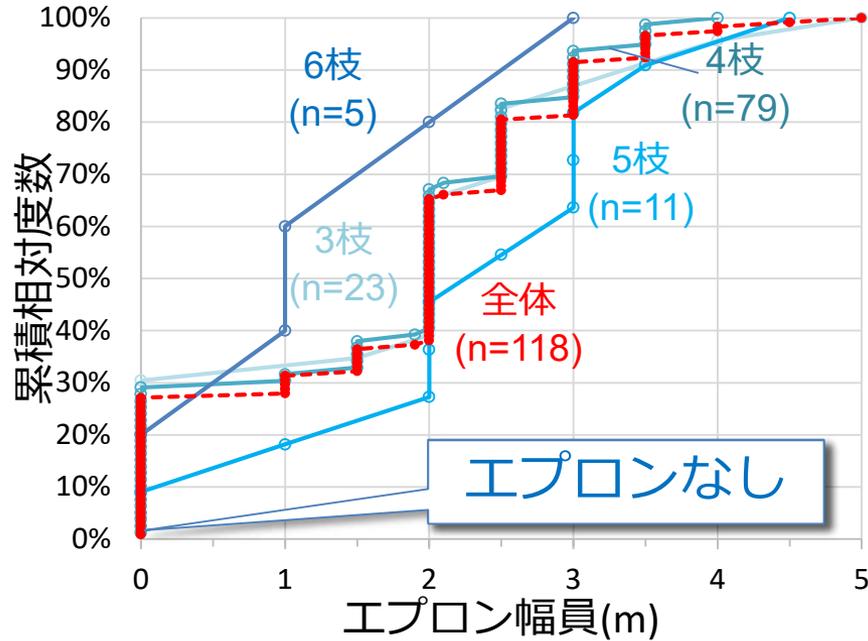


## ➤ 枝数別

- 枝数の増加に伴い，外径が増大傾向
- 3枝の場合は比較的外径が狭い範囲に収まっている

## ➤ 改良前形式別

- **元ロータリー**は比較的外径が大

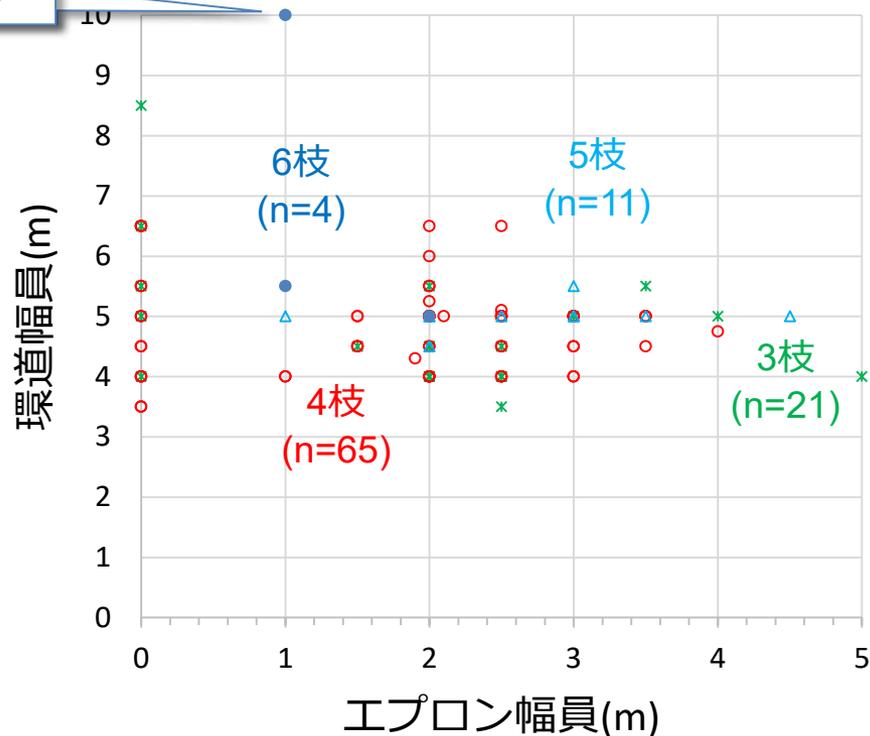
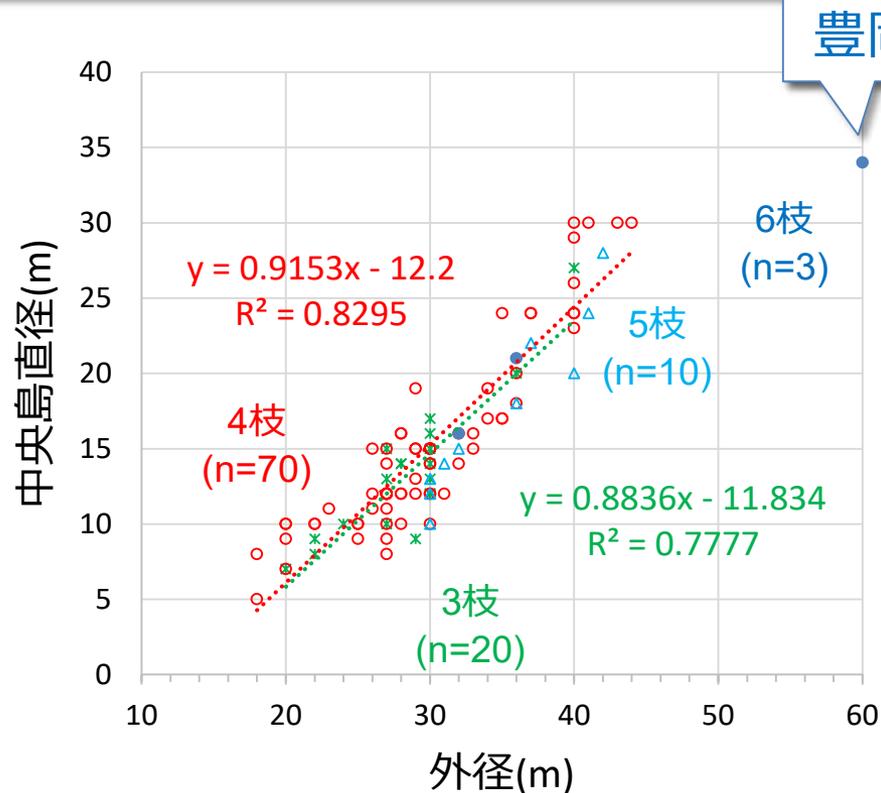


## ➤ 枝数別

- 全体の3割程度でエプロンなし
- 5枝のエプロン幅員が比較的大

## ➤ 改良前形式別

- 元ロータリーの5割弱でエプロンなし
- 新設や元信号の2割程度もエプロンなし



➤ 外径と中央島直径の間には、ほぼ線形関係を確認

- 外径 - 中央島直径  
 $\cong 15 \pm 5m$  程度

➤ エプロン幅員と環道幅員の間には明確な関係なし

- ▶ 国土数値情報等の各種地理情報データを基に、RABの設置位置および周辺に存在する施設等から立地特性を分析

<用途地域(ポリゴンデータ)>



<各種施設(ポイントデータ)>



# 使用データ・定義

- 周辺施設に関するデータは、施設種別に応じて個別に閾値を設定し  
ダミー変数化

区分	データ名称	データ形式	説明変数	備考
土地利用	用途地域	ポリゴン	住居系ダミー, 商業系ダミー, 工業系ダミー	2019年
	農業地域	ポリゴン	農用地区域内ダミー	2015年
人口	DID地区	ポリゴン	DID指定地区内ダミー	2015年
道路	H22センサス道路網	ライン	幹線道路接続ダミー	2010年
	高速インター	ポイント	自専道IC(半径400m以内)近接ダミー	2020年
公共施設	市区町村役場	ポイント	役所(市役所・区役所・町村役場・各支所)近接(半径200m以内)ダミー	2014年
	学校	ポイント	学校近接(半径200m以内)ダミー	2013年
	鉄道駅	ポイント	駅前(半径100m以内)ダミー	2020年
災害	豪雪地帯	ポリゴン	特別豪雪地帯内ダミー	2016年
	津波浸水想定地域	ポリゴン	津波浸水地域内ダミー	2020年 ※ 岩手・宮城・福島はデータなしのため、東日本大震災の浸水域で判断
	避難施設	ポイント	避難施設(収容人数1000人以上)近接(半径300m以内)ダミー	2012年
観光	道の駅	ポイント	道の駅近接(半径100m以内)ダミー	2018年
	観光資源	ポイント/ ポリゴン	観光施設近接(半径300m以内)ダミー	2014年
	景観計画区域	ポリゴン	景観計画区域内ダミー	2014年
その他	旧ロータリー	—	旧ロータリーダミー	RABデータベースの分類を使用

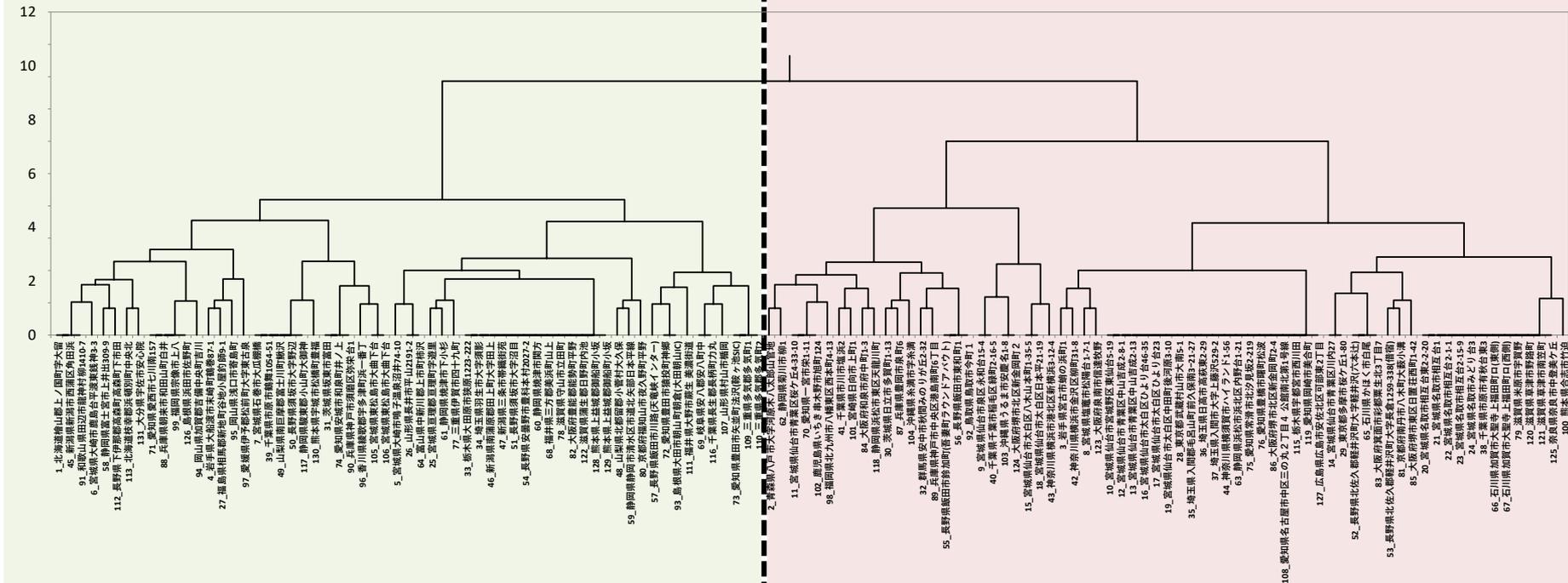
旧ロータリーダミーを使用  
した場合の分析も実施

# クラスタ分析によるグルーピング

## ➤ 階層的クラスタリング：ウォード法

**郊外部系**  
(工業系または用途地域外)

**市街部系**  
(住居系・商業系・DID指定)



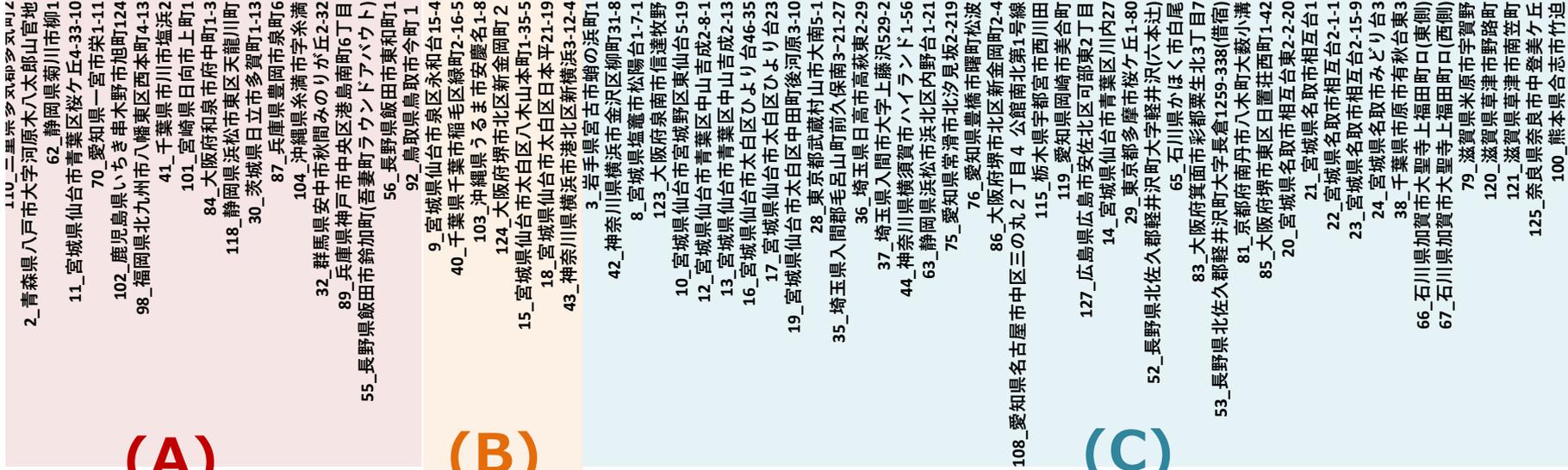
## 住居系以外

## 住居系

### 学校近接

### DID指定

### DID指定外

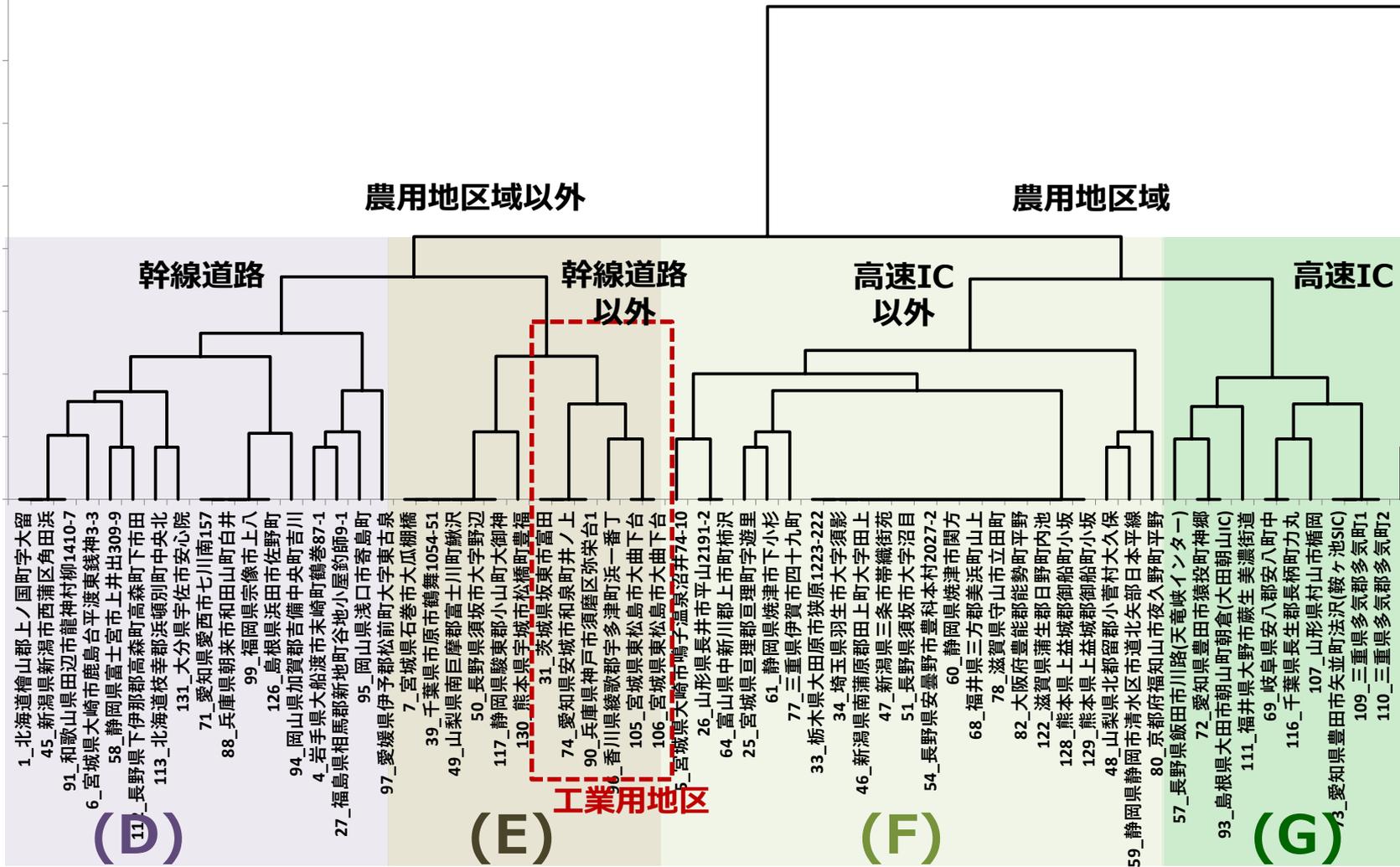


**(A) 市街中心型**

**(B) 文教地区型**

**(C) 住宅地区型**

10  
8  
6  
4  
2  
0



**郊外  
幹線道路型**

**郊外  
非幹線道路型**

**田園  
地区型**

**自専道  
接続型**

# クラス別分類該当数・各項目平均値

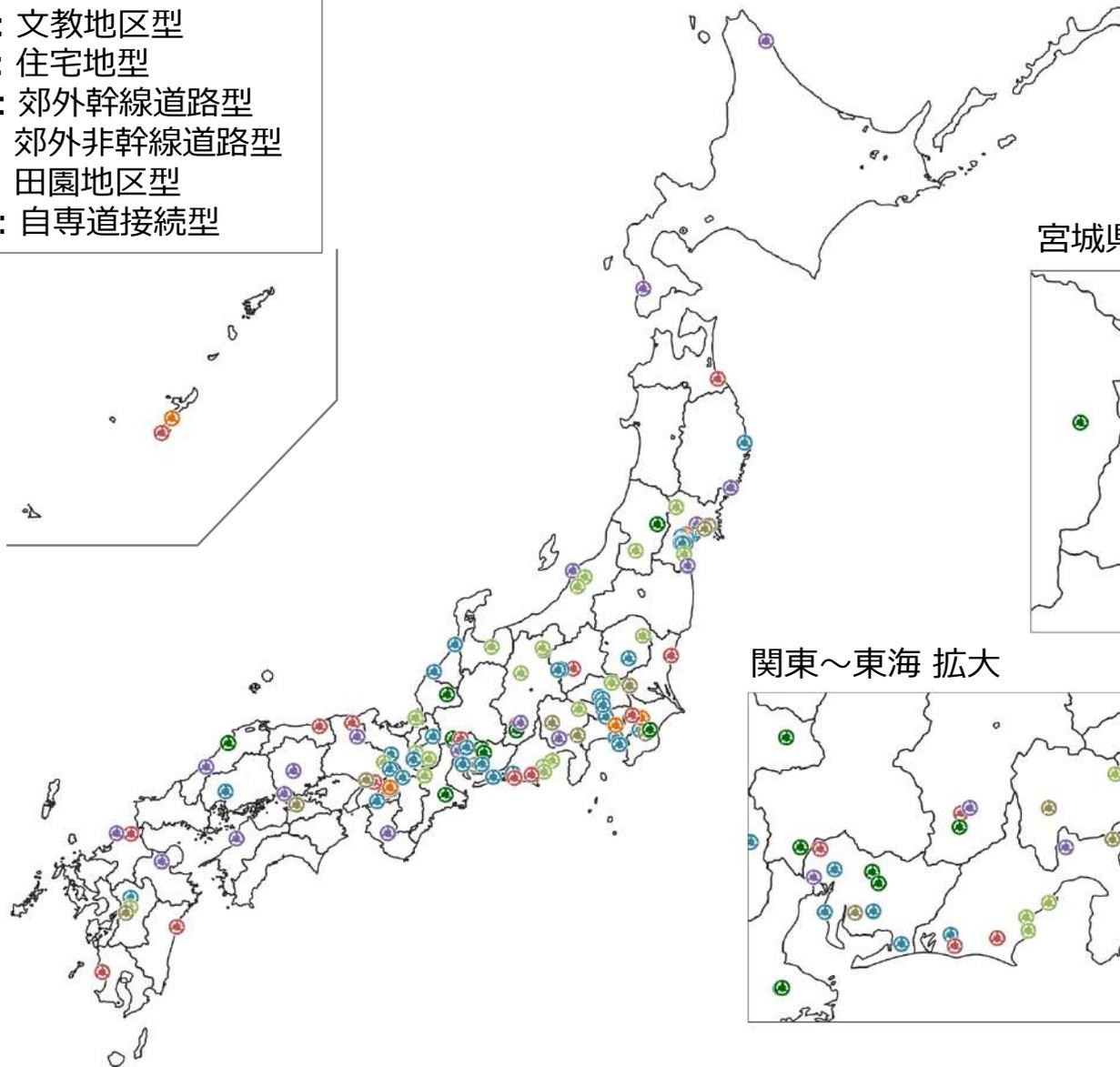


分類	分類数	土地利用				人口	道路		公共施設			災害			観光			
		住居系地区	商業系地区	工業系地区	農業用区域	DID	幹線道路	高速IC	市役所・役場	学校	駅前	道の駅	観光資源	特別豪雪地帯	津波浸水エリア	避難施設	景観区域	
A	市街中心型	18	0.000	0.889	0.000	0.000	0.889	0.444	0.000	0.000	0.000	0.222	0.000	0.167	0.000	0.000	0.222	0.056
B	文教地区型	7	0.571	0.429	0.000	0.000	1.000	0.000	0.000	0.000	1.000	0.000	0.000	0.000	0.571	0.000	0.000	0.000
C	住宅地区型	44	1.000	0.000	0.000	0.023	0.568	0.068	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.068	0.045	0.000	0.000	0.136
D	郊外幹線道路型	17	0.000	0.118	0.000	0.294	0.000	0.941	0.000	0.118	0.118	0.059	0.059	0.294	0.118	0.000	0.118	0.000
E	郊外非幹線道路型	12	0.000	0.000	0.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.167	0.000	0.000	0.250	0.000	0.000	0.000	0.000
F	田園地区型	22	0.000	0.000	0.000	0.909	0.000	0.000	0.000	0.091	0.000	0.000	0.136	0.091	0.000	0.091	0.136	0.000
G	自専道接続型	10	0.000	0.000	0.000	0.600	0.000	0.400	1.000	0.000	0.000	0.000	0.200	0.000	0.000	0.100	0.000	0.000

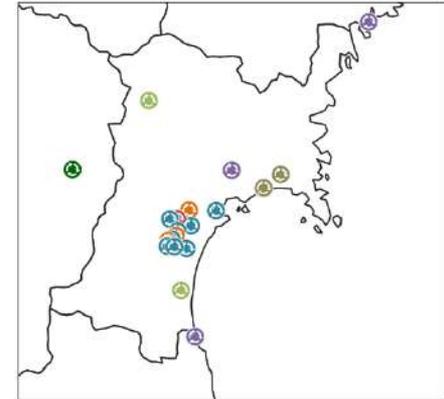
分類 (該当数)	デスクリプション
<b>A.市街中心型 (19)</b>	用途地域のうち、商業系地域に指定されている、若しくはDID地区に指定されている箇所、B(文教地区型)に該当しない箇所
<b>B.文教地区型 (7)</b>	用途地域の指定(住居系地域または商業系地域)があり、周辺(半径200m以内)に学校が存在する箇所
<b>C.住宅地区型 (44)</b>	用途地域のうち、住居系地域に指定されている箇所
<b>D.郊外幹線道路型 (17)</b>	用途地域の指定が無く、一般県道以上の道路が1つ以上接続する箇所
<b>E.郊外非幹線道路型(12)</b>	用途地域の指定が無く、D(郊外幹線道路型)、F(田園地区型)、G(自専道接続型)に該当しない箇所
<b>F.田園地区型 (22)</b>	用途地域の指定が無く、かつ、農用地区域の指定区域に位置しており、G(自専道接続型)に該当しない箇所
<b>G.自専道接続型 (10)</b>	周辺(半径400m以内)に自動車専用道路のインターチェンジが存在する箇所

# 日本のRABの立地特性分類別空間分布

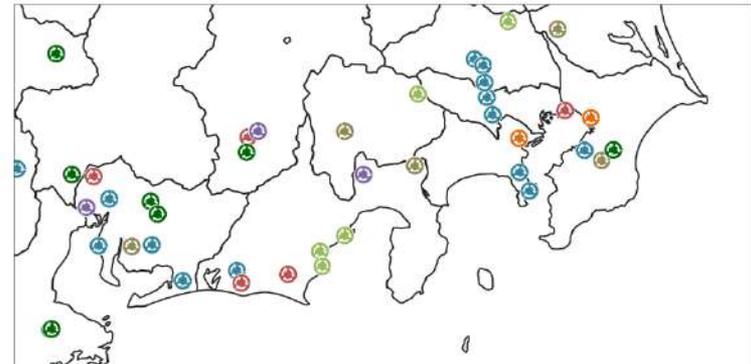
-  A : 市街中心型
-  B : 文教地区型
-  C : 住宅地型
-  D : 郊外幹線道路型
-  E : 郊外非幹線道路型
-  F : 田園地区型
-  G : 自専道接続型



宮城県 拡大



関東～東海 拡大



# 3. RAB整備に関するヒアリング/アンケート調査

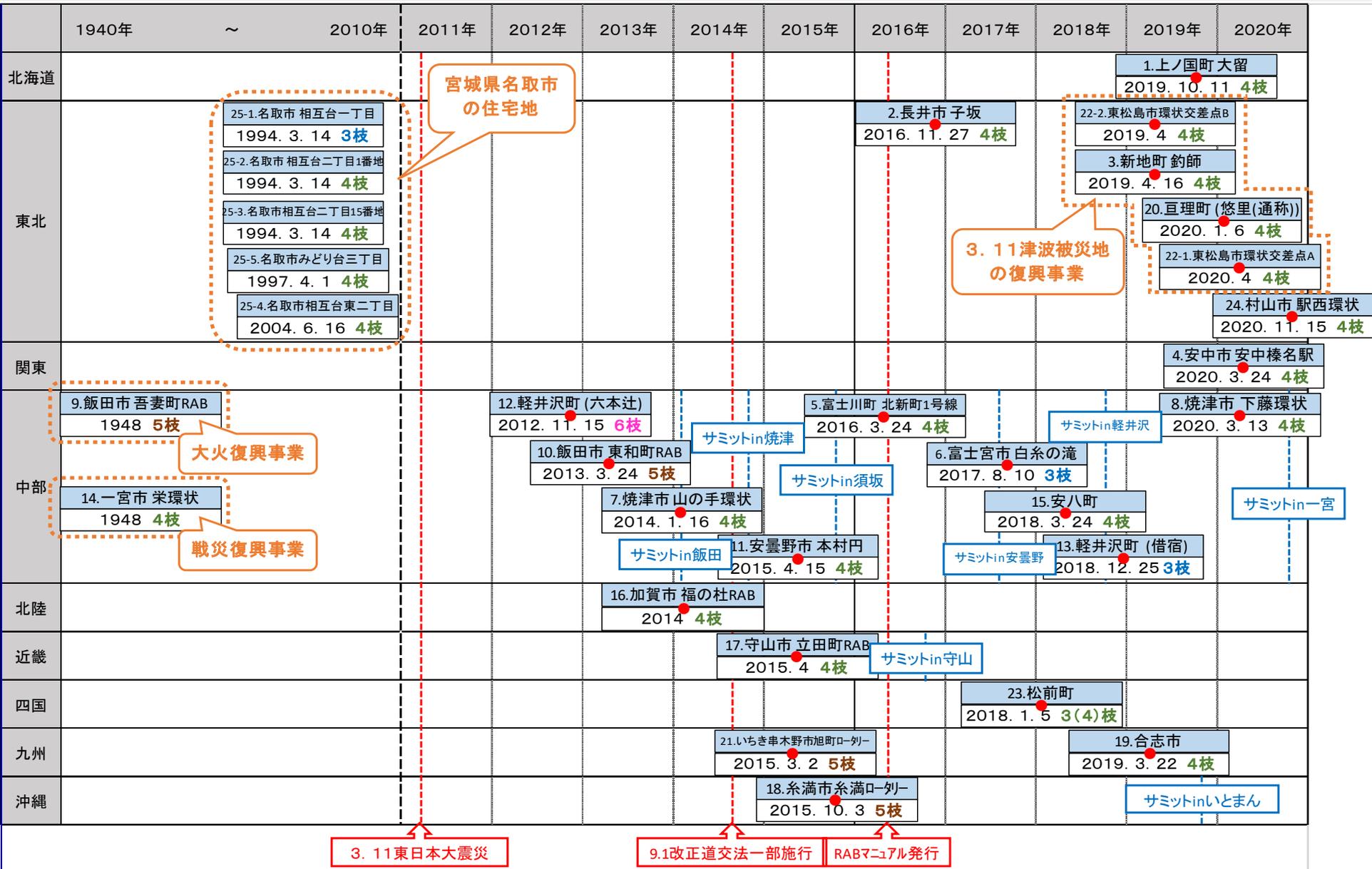


## ▶ 全国30箇所の代表的なRABについて、整備・管理主体に質問しデータ収集

区分	No.	質問内容
A. 全般、 事業費	1	正式な交差点名称をお教えてください。
	2	ラウンドアバウト, または環状交差点としての供用年月日をお教えてください。
	3	枝数(ラウンドアバウトに接続する道路の数)と各交差道路の名称・種級区分をお教えてください。
	4	ドローン等で上空から撮影した空中写真があれば、提供をお願いします。
	5	ラウンドアバウト化に際しての事業費(設計費, 用地費, 施工費, その他別)についてお教えてください。
B. 検討 経緯	6	ラウンドアバウト導入前の制御方式(ロータリー/無信号/信号)をお教えてください。事前がロータリーの場合は、そのロータリーが整備された年をお教えてください。
	7	整備前の交差点においてどのような課題があり、どのような経緯でラウンドアバウトの整備が検討されたかお教えてください。
	8	ラウンドアバウトの検討において代替案との比較や評価をされたか、またラウンドアバウトの採用に至った理由をお教えてください。
	9	警察との交差点協議の経緯や指摘事項等について特記することがあればお教えてください。
	10	検討が始まってから供用までどの程度の時間を要したか、また供用に至るまでのプロセスを時系列でお教えてください。
C. 利用 特性・ まちづ くり	11	当該交差点は道路ネットワークの中でどのような位置づけとなる交差点かお教えてください。また、周辺の土地利用や沿道状況、交差点の利用特性(自転車・歩行者が多い、通学路指定など)についてお教えてください。
	12	まちづくりを考える上で、当該交差点をラウンドアバウト化したことに対して期待することをお教えてください。
	13	交差点の交通量についてお教えてください。(日交通量, ピーク時間交通量, 車種別, 自転車, 歩行者等, 可能な範囲で)
D. 合意 形成・ 広報・ 教育	14	住民との合意形成の方法・経緯等についてお教えてください。 ・住民説明会の実施状況 ・住民の反応や指摘事項とその対応 等
	15	どのような方法・媒体を使って広報を実施したかお教えてください。
	16	通行方法の安全教育活動や啓発活動を実施したか、また実施した場合はどのような方法で実施したかお教えてください。

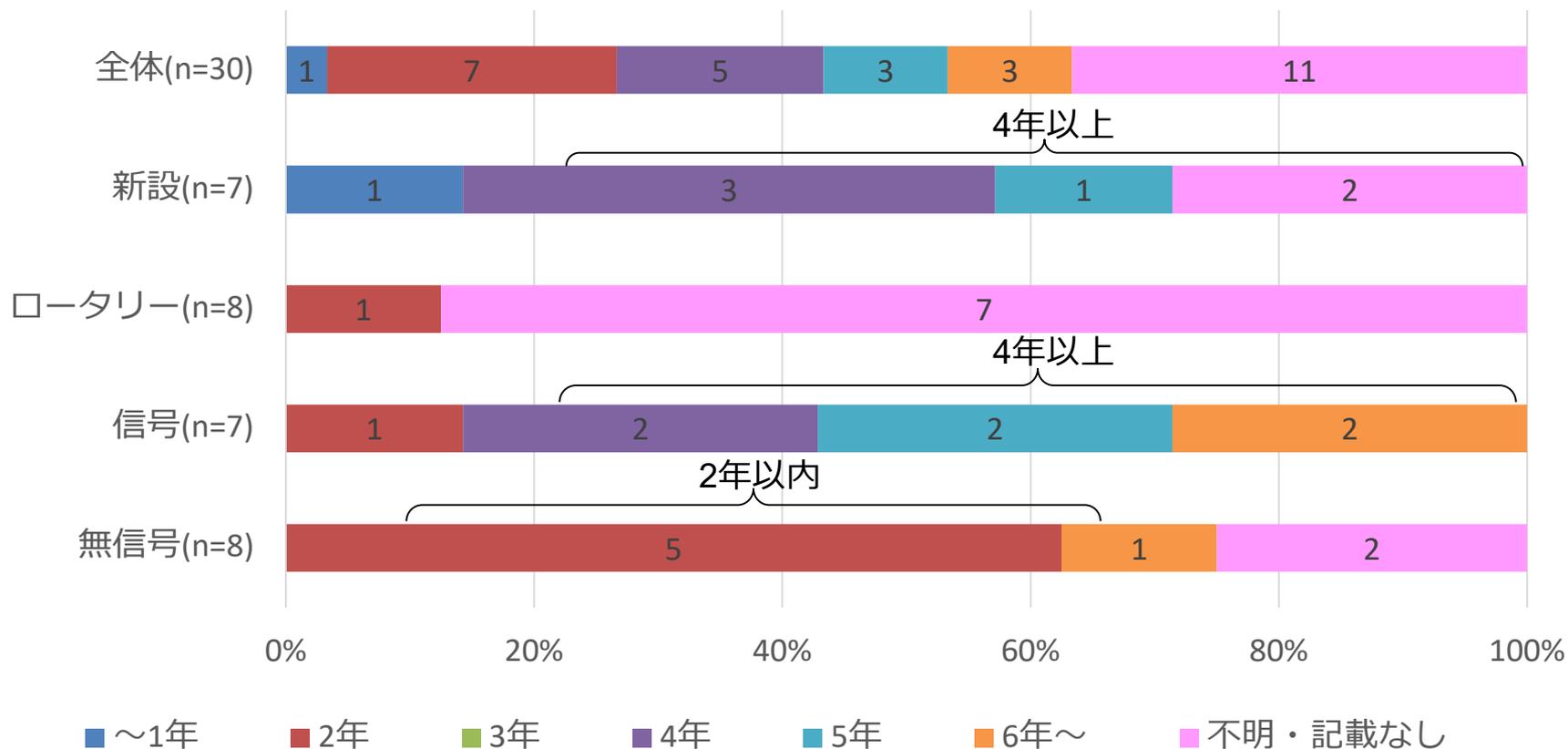
区分	No.	質問内容
E. 設計	17	設計の際に「ラウンドアバウトマニュアル」を参照されましたか? 参考にした他の導入事例はありますか?
	18	以下の各幾何構造要素の諸元と、根拠についてお教えてください。 外径/環道幅員/中央島直径/隅角部・分離島形状/エプロン(段差, 構造, 舗装面等)/その他
	19	安全対策として実施したものを教えてください。(段差舗装, 看板の設置, カラー舗装 等)
	20	自転車の通行に対する対応についてお教えてください。
	21	視覚障害者の通行に対する特別な配慮があればお教えてください。
F. 施工	22	施工期間はどの程度だったかお教えてください。
	23	施工の手順や現場での工夫等についてお教えてください。 交通切り回し(全面通行止め, 通行規制をかけながら実施したか)/施工手順/その他現場での工夫等
	24	導入直後の状況についてお教えてください。 利用者の混乱, 逆走等の発生状況/交通指導員の配置 等
G. 導入 後の状 況・交 通事故	25	導入前・導入後の交通事故の発生状況についてお教えてください。
	26	利用者や近隣住民へのアンケート調査を実施されていれば、その結果をお教えてください。
	27	苦情や要望等があれば、その内容をお教えてください。
	28	観測調査(速度・滞留長・危険挙動等)を実施されていれば、その結果についてお教えてください。
H. 維持 管理	29	維持・管理に関して、特記事項があればお教えてください。 積雪時の除雪作業/中央島等の植栽の管理/その他
	30	導入後に生じている問題点があればお教えてください。
	31	導入後に改良したこと, または改良予定の事項があればお教えてください。
将来計画	32	他にラウンドアバウトの導入計画があればお教えてください。

# 調査対象RABと供用タイミング



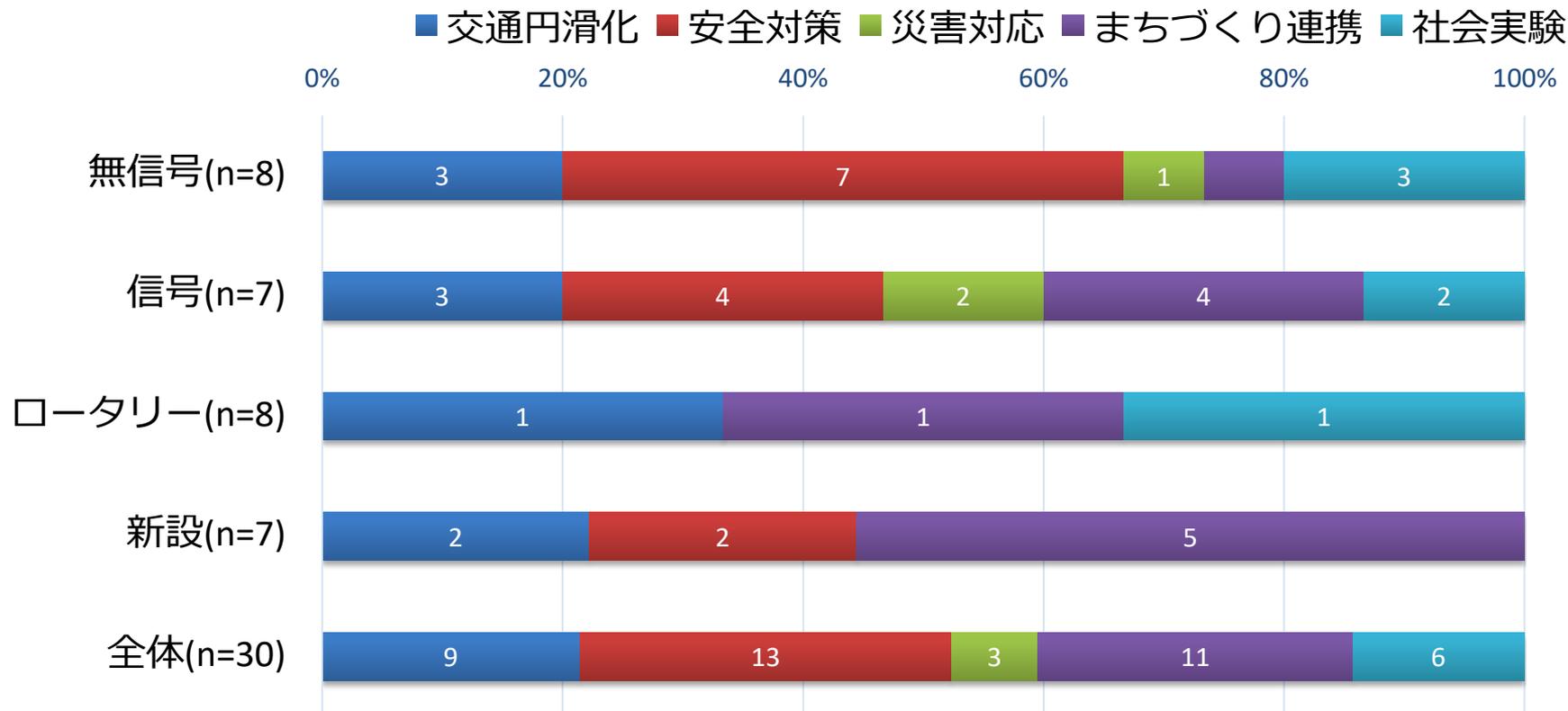
## ▶ 改良前形式別事業期間

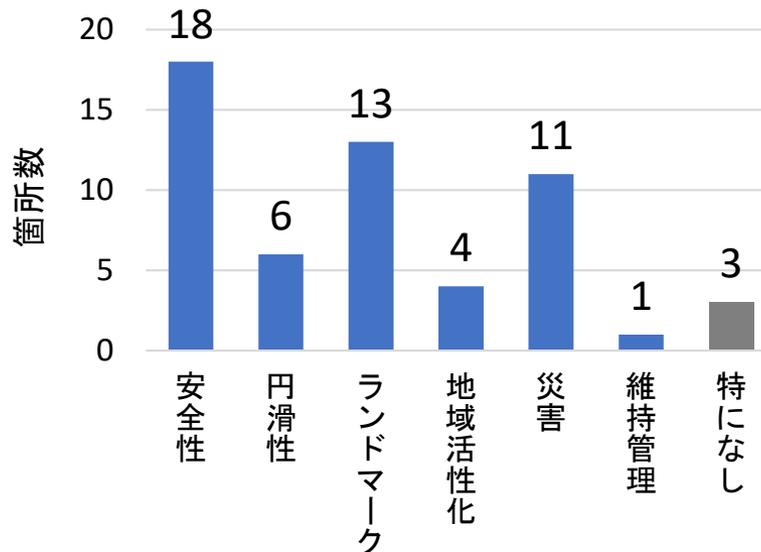
- 無信号交差点からの改良
  - 検討開始から供用まで概ね**2年以内**に完了。導入に際しての課題が少なく、短期間で完了すると推察
- 新設および信号交差点からの改良
  - **4年以上**かかる箇所が多く、信号撤去に伴う安全性確認など課題が多いことが要因と推察



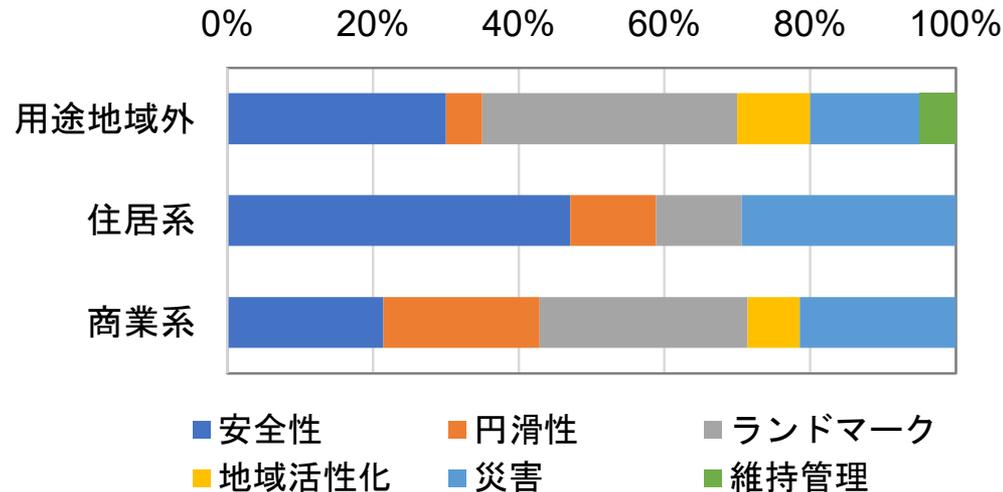
## ➤ RAB整備のねらい・・・安全対策としての導入は共通

- 無信号交差点の改良： **安全対策**
- 信号交差点の改良： **交通円滑化, 災害対応**
- 新設： **まちづくりとの連携整備**





まちづくりへの期待(N=34)



用途地域別のまちづくりへの期待

## ➤ まちづくりへの期待

- 安全性, ランドマーク, 災害の順. 安全性以外の付加価値にも期待

## ➤ 用途地域別

- 住居系：安全性, 災害
  - 用途地域外：安全性, ランドマーク
  - 商業系：ランドマーク, 安全性, 円滑性
- 立地特性に応じて, 街づくりに対する期待が異なる

# C. まちづくりのツールとしての導入例 IATSS

## ▶ 観光地入口での景観的機能に期待した事例(白糸の滝RAB)

白糸の滝周辺の無電柱化事業と合わせて、信号の設置を必要としないラウンドアバウトを導入



## ▶ 地域のランドマークとして整備した事例(安中榛名RAB)

新幹線の安中榛名駅前に位置しており、地域のランドマークとなることを期待してラウンドアバウトを導入



## ▶ 地域活性化のツールとして整備した事例(上ノ国町RAB)

旧上ノ国駅周辺の複合施設等の整備と併せて、町の活性化のためのシンボルゲートとなることを期待してラウンドアバウトを導入



## ▶ 津波被災地において導入した事例

津波被災地における公園や海水浴場等の整備にあわせて、復興のシンボルとして導入

「大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業」の一環で、災害に強く復興のシンボルとして、かつ周辺の利用の推進を図るために導入



- ▶ 多くの事業で事前に地元住民対象の説明会を複数回実施
  - 社会実験を実施した事業では、全てが説明会を実施し、住民の理解と協力を求めた。
- ▶ パイオニア的事例である飯田市の2事業
  - 検討当初ラウンドアバウトという用語も認知されておらず、住民説明の際に学識者が同席、海外事例を紹介するなど、合意形成に向けた取り組みを実施。
  - 計画段階で地域住民が検討に加わった東和町RABでは、信号交差点とする整備方針が住民要望でRABの採用へと変更。
- ▶ 東日本大震災の被災地区である新地町釣師交差点
  - 公園づくりのワークショップ内での提案を盛り込んだ。



軽井沢町六本辻(国交省社会実験)



長井市社会実験の説明会

➤ ほぼ全事業で自治体発行広報誌に事業実施のお知らせを複数回掲載

- RABの解説, 交通ルール, 工事時期や切替日時などを周知

➤ リーフレット・チラシの配布, 自治体HPへの掲載, 回覧板の活用等

- 対象は周辺住民, 通行車両
- 自動車教習所に配布した事例も(安曇野市本村円)

➤ 観光地では広報に力を入れた

- 観光協会, バス協会等, 近隣の道の駅で配布
- 中国語・韓国語のリーフレットを作成(軽井沢六本辻)

➤ 「県内(道内)初の取組」である事業はメディアが大きく取り上げる傾向



広報ふじかわ



長井市リーフレット



糸満市広報資料



広報やいづ

焼津市社会実験リーフレット

## ▶ 対象者別の安全教育・啓発活動の方法

対象者	活動メニュー	活動内容
ドライバー	RAB通行体験会の開催	通行ルールの周知，通行体験・同乗体験の実施，VR運転シミュレーションによる練習，地元小中学校等のグラウンドにて模擬のRABを設置して通行方法を体験
	現地交通指導	交差点への流入車両を一時停止してチラシ配布や交通指導の実施，地区住民を現地に送迎し車両の通行状況を視察・学習
自転車利用者	現地交通指導	交通管理者や地元警察による交通指導
歩行者	地域住民，小・中学生への安全教育	通行方法の説明会，現地での横断歩道通行体験，学校の体育館やグラウンド等における渡り方の練習



地域住民の通行体験(上ノ国町)



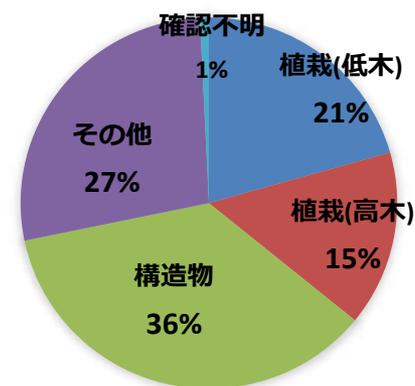
小学生渡り方体験(軽井沢六本辻)



児童見守り隊の街頭指導(軽井沢六本辻)

## ➤ 中央島上の状態

- ① 植栽(低木)
- ② 植栽(高木)
- ③ 構造物(街灯, 標識, 看板, 石, オブジェ, 鉄塔)
- ④ その他(祭りのために脱着式柵の例も)



中央島の状態



脱着式柵の設置された中央島(堺市)

## ➤ デザインに留意した存在感のある事例の増加

- 例)うるま市, 伊賀市, 飯田市等



伊賀市RABの中央島(手裏剣)

## ➤ 構造上の特徴

- 設計対象車両：小型自動車等
- 環道外径：17～19m程度，エプロン設置なし
- 分離島：設置なし

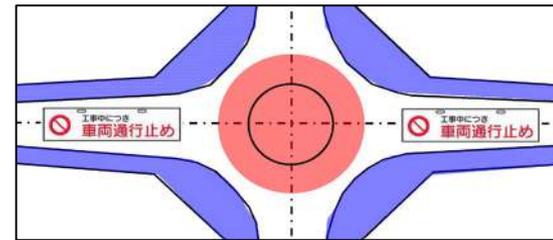
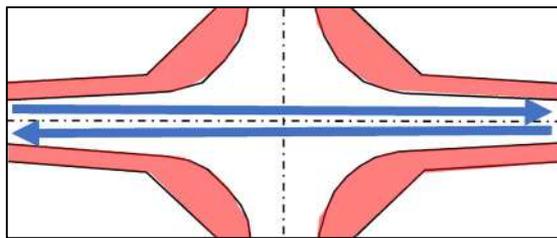
## ➤ 細街路や住区内での導入効果

- 無信号街路交差部での安全性向上
- 交通静穏化の手段として有力な手段



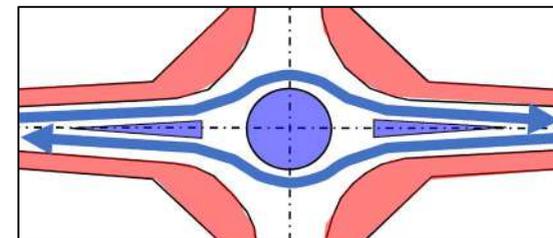
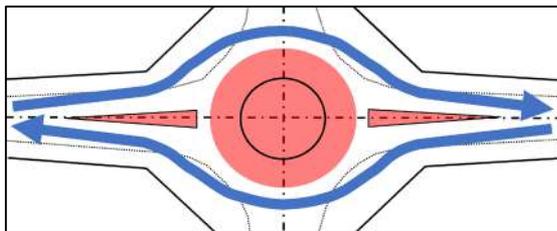
## ➤ 概ね次の2パターン

- ケース①：撤去・支障移設等 → 歩道・接続道路等 → 中央島  
→ 区画線・付属施設 10件

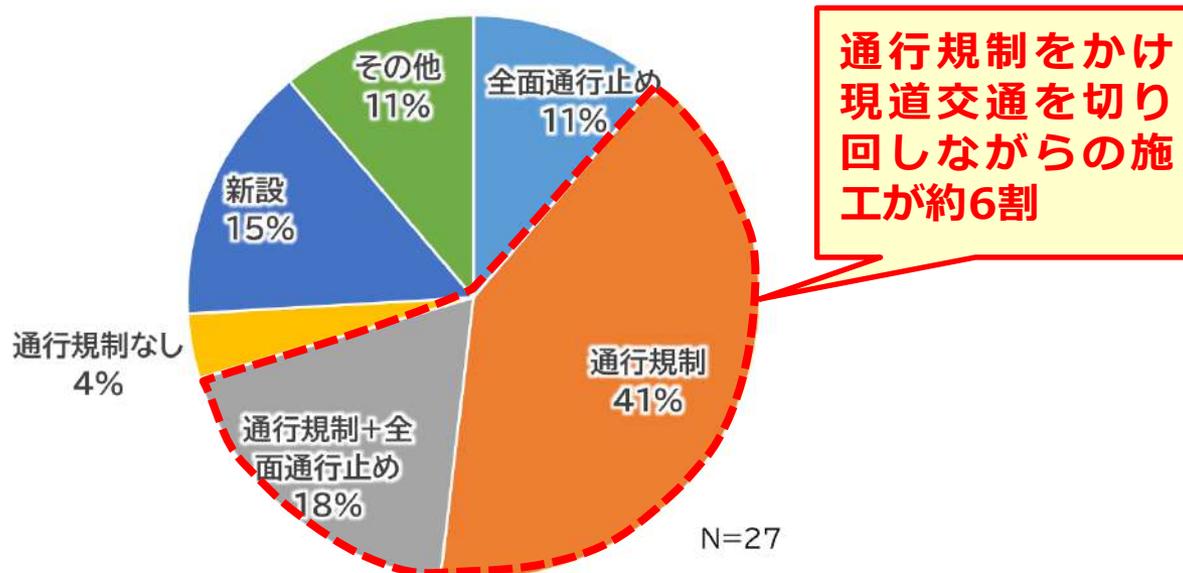


凡例	
<span style="color: red;">■</span>	: 施工中
<span style="color: blue;">■</span>	: 施工済み
<span style="color: blue;">➡</span>	: 交通切回し

- ケース②：撤去・支障移設等 → 中央島 → 歩道・接続道路等  
→ 区画線・付属施設 5件



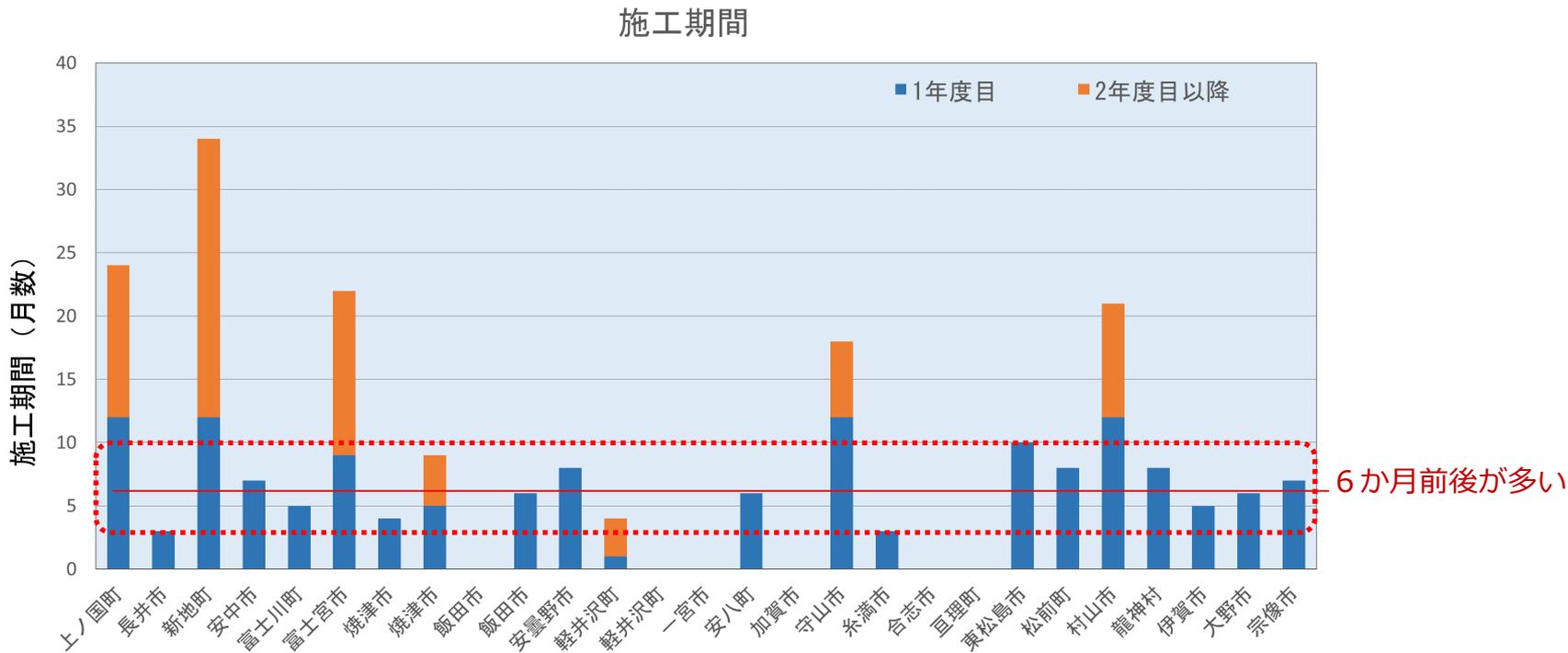
- ▶ 一部通行止めも含め，通行規制により現道交通を切り回しながらの施工が約6割
- ▶ 全面通行止めが約1割



※ヒアリング対象全30箇所のうち，既存ロータリーからRABに変更した3箇所は除く

## ➤ 概ね半年前後の事例が多い

- 2カ年工事に分けて施工の事例もあり
- 施工月数は現況からの改築施工量に影響され、規制方法等による傾向は見られない



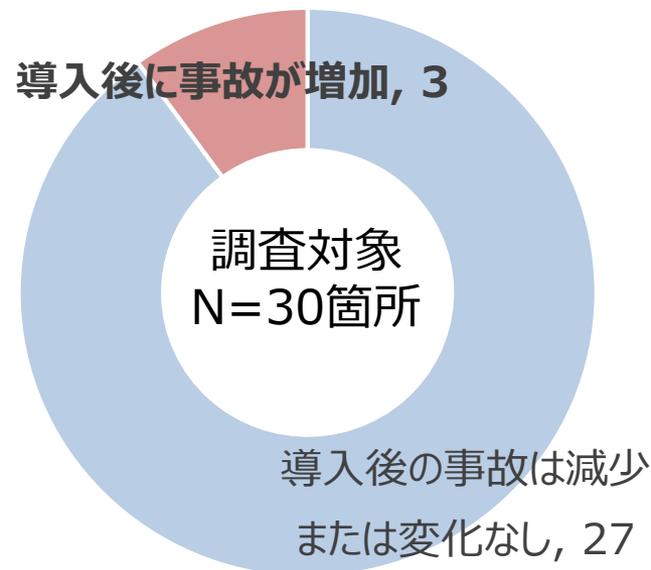
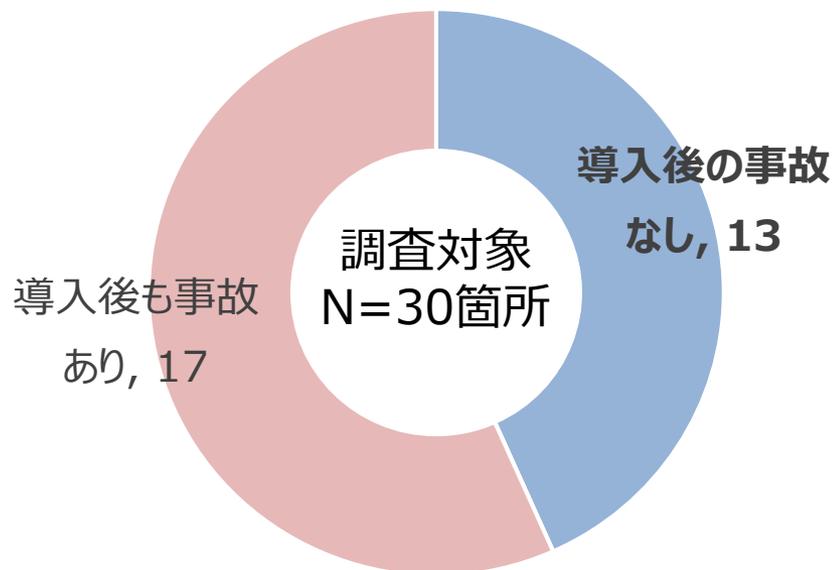
※施工期間が長期の事例は、実施期間の内訳詳細が不明な事例が多い  
 ※ヒアリング対象全30箇所のうち、既存ロータリーからRABに変更した3箇所は除く

## ▶ ラウンドアバウト導入後の事故発生状況

- 調査対象30箇所のうち, 17箇所を導入後に交通事故発生

## ▶ 導入前後の交通事故増減

- 導入後に交通事故が増加したと回答したのは3箇所
  - 交通島への接触等の物損事故や軽傷あるいは外傷なしの事故
  - 例えば, 導入前6件の交通事故発生(うち人身事故1件)箇所では, 導入後7件の単独事故(交通島への接触)で人身事故は0



## ➤ 回答の多い項目

- エプロン(12%), 植栽(68%), 除雪(35%)

## ➤ エプロン

- 初期整備RABにおけるエプロン段差等損傷による更新計画

## ➤ 植栽管理は、コスト/人材確保の観点から課題

- 年1~2回管理で業者委託(静岡県, 群馬県)
- 年1回, 自治体職員が直営(岐阜県安八町, 山梨県富士川町)
- シルバー人材への委託(長野県安曇野市)
- 任意団体が管理(長野県軽井沢町)

## ➤ 防草処理した中央島施工へ (静岡県焼津市)

【一宮市RAB】

1949年設置, 71年経過



【焼津市山の手RAB, 2014年設置, 7年経過】

対向車が見えない



除草前



除草後

【焼津市下藤RAB, 2020年設置】



- 道路管理者(国/県/市町)により除雪出動基準を設定
  - 降雪5, 10, 15cmなど
- 機械除雪を実施
  - 除雪ドーザー, 除雪グレーダー, 除雪トラック(北海道, 東北, 長野, 北陸)
  - 除雪作業によるエプロン端部の破損を懸念
- 標識・道路附属物への着雪(山形県長井市)

【北海道上ノ国町RAB】



除雪トラックによる除雪作業

【山形県長井市RAB】



除雪ドーザーによる除雪作業



道路附属物への着雪を人力で除去

【山形県村山市RAB】

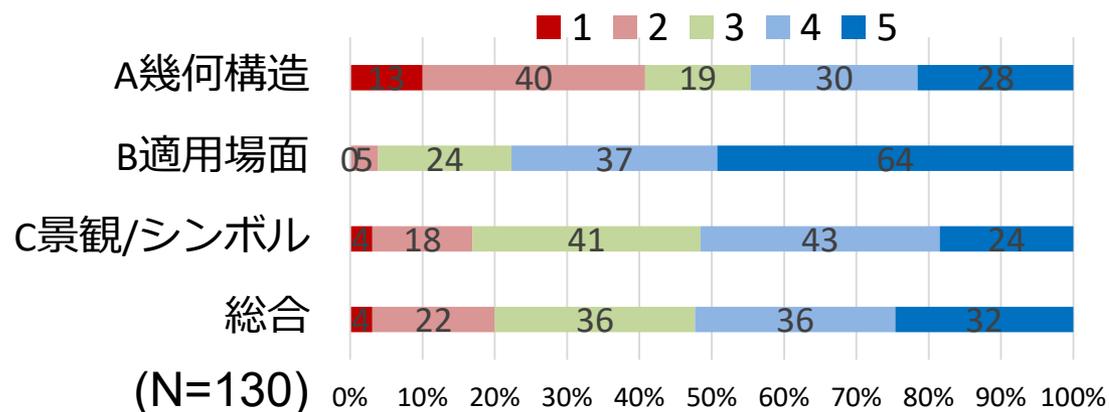


# 4. ラウンドアバウトの評価

➤ 好事例を示すことで、整備改良に際して参考にしてもらおうことを意図

## ➤ 評価項目

- A.構造, B.適用場面, C.景観, D.総合の4項目
- 各項目について1~5の5段階評価
- ミシュランガイドのように星印を付記
  - 総合評価 4 (36箇所) → ☆
  - 総合評価 5 (32箇所) → ☆☆

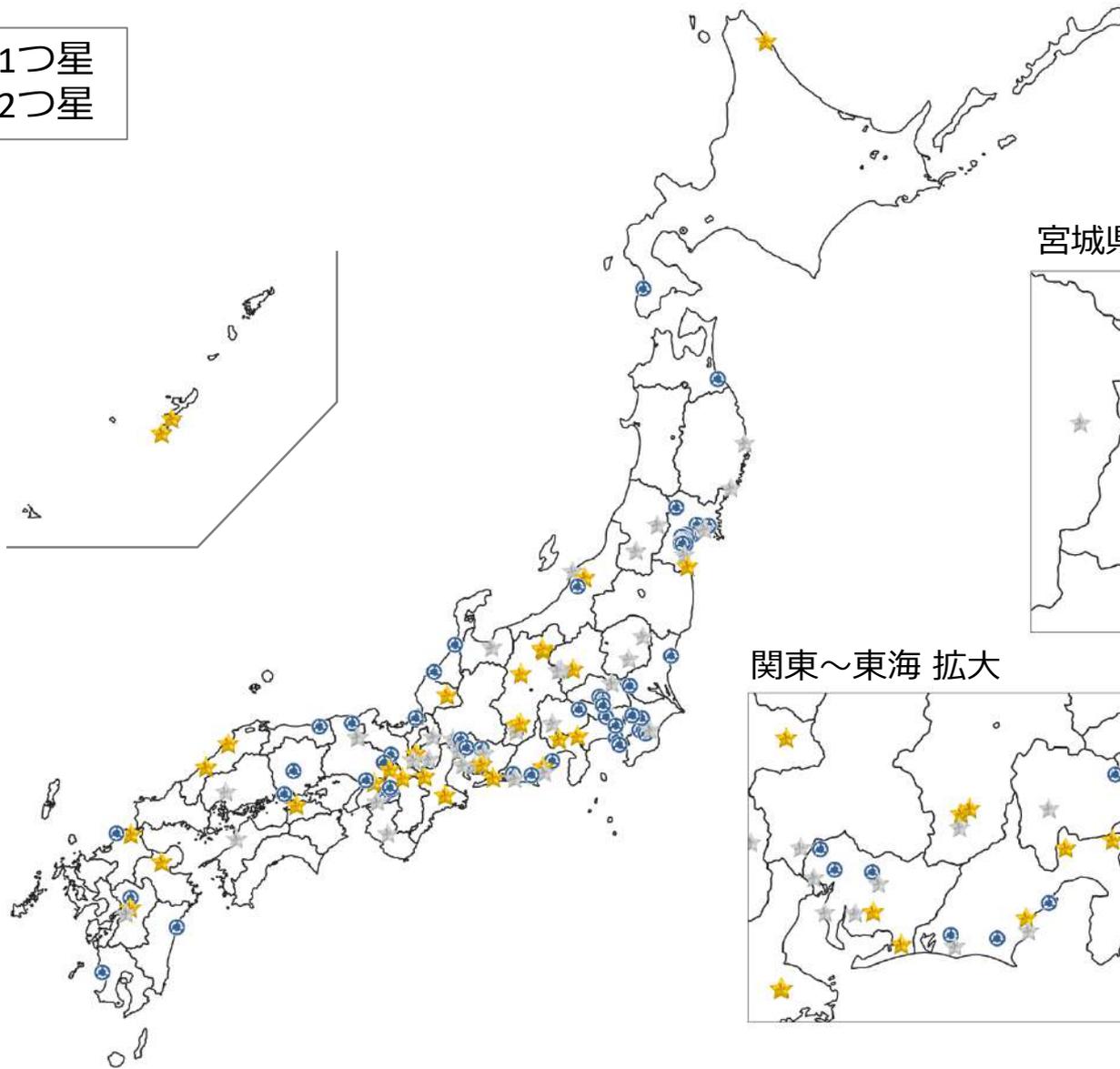


## ➤ 各項目評点分布の傾向

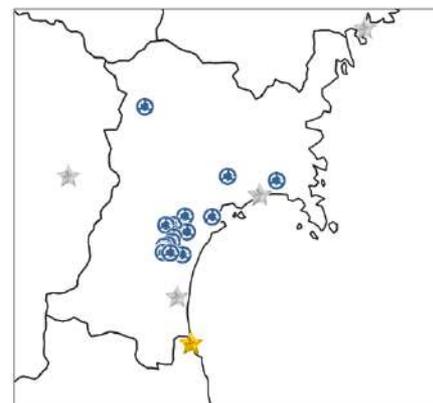
- 「A.構造」の評点において、ばらつきが最も大きい
- 「B.適用場面」は、ほとんどが3以上の評価
- 「A.構造」と「総合」の相関が強い

# 評価別マップ (総合評価)

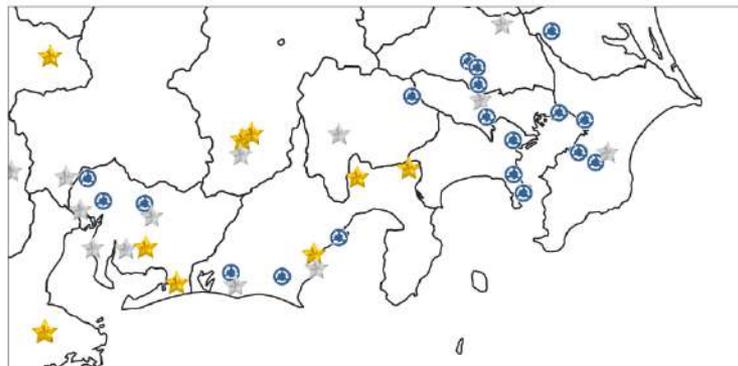
- ★ 1つ星
- ★ 2つ星



宮城県 拡大



関東～東海 拡大



# 代表的な好事例(☆☆)

## ➤ 駅の入口



群馬県安中市

## ➤ 市役所前



三重県伊賀市

## ➤ 市街部



香川県綾歌郡宇多津町

## ➤ 郊外部



長野県須坂市野辺



長野県須坂市沼目

## ➤ 住宅地内



大阪府箕面市



滋賀県草津市



奈良県奈良市

# ID 103 沖縄県うるま市



## 所在地

沖縄県うるま市安慶名

## 接続路線

市道安慶名1区線

市道安慶名3区線

## 交通量

8400台(12時間交通量)

枝数 4枝

外径 34m

供用 2018年11月

## B.文教地区型



[Google mapへのリンクはこちら](#)

- 全国130箇所のラウンドアバウトDBを整備した。
  - 各ラウンドアバウトについて約100項目のデータ
  - 統計的分析により、日本のRABの特徴を定量的に把握することが可能
  
- このRAB-DBを用いて次の事項を行い、わが国のラウンドアバウトの実態を把握するとともに、社会に向けて広く情報提供を行うための準備を完了した。
  - 構造上の特徴分析
  - 立地特性による分類
  - 各ラウンドアバウトの評価(構造, 適用場面, 景観, 総合の各項目による評点)
  
- RAB-DBの中から、30箇所程度の代表的なラウンドアバウトを抽出し、導入経緯, まちづくり, 合意形成, 設計, 施工, 維持管理などの観点から事例を整理することによりこれらの特徴を把握した。

## ➤ Web公開用システムの開発とDBの実装

- 全国地図上に各RABを(分類/枝数別に)表示
- 各RABをクリックすると、そのラウンドアバウトの概要紹介カードを表示
- 枝数別, 分類別, 評価別, 道路種別別などによる抽出・表示機能

## ➤ 日本のラウンドアバウトの実態に関する情報発信

- IATSSプロジェクトの成果に関するセミナー開催
- RABに対する認知度・理解向上と普及促進のための社会貢献活動
- RAB普及促進協議会へのフィードバックによるサポート

## ➤ DBの継続的更新と機能改善

- DB維持管理体制の構築



公益財団法人 国際交通安全学会

International Association of Traffic and Safety Sciences